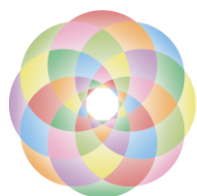


バルテス・ホールディングスが参画する 日本サイバーセキュリティファンドの第一号投資先企業に 国産の従業員向けセキュリティ教育クラウドサービス「セキュリオ」を提供する LRM 社が決定

バルテス・ホールディングス株式会社（本社：大阪市西区、東京都千代田区、代表取締役会長：田中真史、<https://www.valtes-hd.co.jp/>、以下、バルテス・ホールディングス）が参画する日本サイバーセキュリティファンド1号投資事業有限責任組合（以下、NCSF）は、従業員のセキュリティリテラシーを高める国産クラウドサービス「セキュリオ」を提供する LRM 株式会社（兵庫県神戸市中央区栄町通 1-2-10、代表取締役 CEO：幸松哲也、<https://www.lrm.jp/>、以下、LRM）を第一号出資先として決定いたしました。

サイバー攻撃被害の原因として人為的なミスは永年の課題であり、IPA が毎年公表している情報セキュリティ 10 大脅威（*1）でも毎年上位 10 位にランクインしています。従業員向けセキュリティ教育の需要は年々高まっており、セキュリティ教育サービスの市場規模は 2024 年度に 100 億円を超えるなど（*2）、企業規模を問わず実施が拡大しています。

NCSF は、従業員向けセキュリティ教育市場の伸びに合わせ、LRM の近年の業績成長、国産ツールであること、そして、バルテス・ホールディングスを含む NCSF に参画する L.P.（Limited Partner）企業との事業シナジーが望めることから、第一号投資先企業として決定いたしました。



NCSF
日本サイバーセキュリティファンド



Security Diet®
LRM 株式会社

（*1）IPA「情報セキュリティ 10 大脅威 2025」 <https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2025.html>

（*2）ITR「サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2024」

■従業員向けセキュリティ教育の必要性和ツールの課題

セキュリティ態勢の強化は、EDR（Endpoint Detection and Response）といったツールで防ぐことに加え、システムやデータを扱う人の意識（Security Awareness）を高めることで実現されます。ツールの導入は費用面や導入・運用工数など実行のハードルが高い一方で、従業員向けのセキュリティリテラシー教育（Security Awareness Training）は比較的手軽に実施できることもあり、サイバー攻撃被害の拡大とともに、企業規模を問わず実施が進んでいます。

サイバーセキュリティに関する知識を高めるための e ラーニングやメール訓練などのサービスは日本国内で多数提供されています。近年では外資企業のサービス導入も進んでいますが、LRM が提供する「セキュリオ」は国内で開発・運用されており、日本国内多様なニーズを反映し、日本人に適したサービスとして高い評価を受けています。



■国産クラウドサービス「セキュリオ」

セキュリオ (<https://www.lrm.jp/seculio/>) は、セキュリティ教育の実施・分析・繰り返しを、担当者の負担なく実施できるクラウドサービスです。標的型攻撃メール訓練機能、eラーニング機能、セキュリティ Awareness機能など、従業員のセキュリティ意識を上げる仕組みが搭載されており、月額 18,000 円から利用することができます。これまでに、従業員 10,000 名を超える大手企業、グロース市場に IPO を果たしたテクノロジー企業、ベンチャーキャピタルから数十億円の資金調達をしている未上場企業、創業から間もない数名～10 数名の規模の企業まで、累計 2,200 社の導入実績があります。「セキュリオ」の主な機能は次の通りです。

-標的型攻撃メール訓練

サイバー攻撃を想定したメール訓練ができます。20 種類以上の訓練メール例や結果の自動集計でスムーズに訓練が可能です。

-eラーニング

120 種類以上の教材で社員のセキュリティ学習をサポートします。テスト採点も自動集計で、受講結果をかんたんに確認できます。

-セキュリティ Awareness

1 回 3 分の定期テストで継続的にリテラシー向上が図れます。問題は、150 問以上から自動的に配信することができます。

-社内アンケート

従業員のセキュリティルール遵守状況をアンケートで確認できます。

■LRM 代表取締役 CEO 幸松 哲也氏よりコメント

このたび、日本の情報セキュリティ業界の成長と発展を目的として設立された「日本サイバーセキュリティファンド」の記念すべき第 1 号案件として、出資をお受けできることを大変光栄に思います。

デジタルトランスフォーメーション (DX) が加速する現代において、情報セキュリティの重要性はますます高まっています。

しかし、その一方で、サイバー攻撃は高度化・巧妙化し、また、専門人材の不足も深刻な課題となっています。

このような状況に対し、日本の情報セキュリティ業界全体を牽引し、そのエコシステムを強化していくことを目指す本ファンドは、まさに時代が求める取り組みだと感じています。

LRM はこれまで、情報セキュリティ教育クラウド「セキュリオ」と、専門家によるコンサルティングサービスの両輪で、企業のセキュリティ文化の醸成と、情報セキュリティレベルの向上に貢献してまいりました。

今回の出資は、私たちの事業成長を加速させるだけでなく、本ファンドの投資先となる他のセキュリティ企

業との連携を可能にし、日本の情報セキュリティ業界全体の底上げに貢献していく、という大きな使命を帯びていると認識しております。

LRM は、日本サイバーセキュリティファンドの第 1 号案件としての責任と期待を胸に、今後も「セキュリティ」の革新と普及、そして高度なコンサルティングサービスの提供に邁進してまいります。

そして、ファンドの目指す「日本の情報セキュリティ業界の成長と発展」に貢献できるよう、事業を通じて全力を尽くす所存です。

今後も、私たちの取り組みにご期待ください。

■バルテスグループについて

バルテスグループは、ソフトウェアテストをメインとした品質向上支援サービスを提供している本業界のリーディングカンパニーです。上流工程における品質コンサルティング、体系的なテストエンジニアの教育プログラムに加え、生成 AI テストツール開発・活用を通じた品質向上にも積極的に取り組んでおります。バルテス株式会社は、ソフトウェアテストに関する国際的な資格認定機関である「ISTQB」の最高位ランクである「Global Partner」に日本で初めて認定された企業です。

【バルテス・ホールディングス株式会社】

企業名：バルテス・ホールディングス株式会社

証券コード：4442（東京証券取引所グロース市場）

代表者：代表取締役会長 兼 社長 田中真史

本社所在地：（大阪本社）大阪市西区阿波座 1-3-15 関電不動産西本町ビル 8F

（東京本社）東京都千代田区麹町 1-6-4 住友不動産半蔵門駅前ビル 11F

設立：2004 年 4 月 19 日（2023 年 10 月より持株会社体制に移行）

資本金：9,000 万円

従業員数：962 名（2025 年 6 月末 グループ 8 社計）

ウェブサイト：<https://www.valtes-hd.co.jp/>

■LRM 株式会社

企業名：LRM 株式会社

本社所在地：〒650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通 1-2-10 読売神戸ビル 5F

代表者：代表取締役 CEO 幸松 哲也

設立：2006 年 12 月

資本金：1 億円（資本準備金除く）

コーポレートサイト URL：<https://www.lrm.jp/>

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

<報道関係者 お問い合わせ先>

バルテス・ホールディングス株式会社 広報・IR 部 担当：上西、古家

TEL：03-5210-2110 FAX：03-5210-2081 E-mail：release@valtes-hd.co.jp